

# 研究データ利活用協議会 (RDUF)

## 2023年 公開シンポジウム プログラム

日時：2023年12月4日（月）13：30～17：15（現地受付開始 13:00）

※オンライン参加は 16:45 まで。

開催方法：ハイブリッド開催

リアル開催場所：科学技術振興機構 [東京本部別館](#) 1F ホール

オンライン開催：Zoom（Meeting）

※2ページ以降に各ご講演の講演者・概要を掲載しております。

時間	内容
13:30～13:35	開会挨拶
第1部	
13:35～13:45	研究データ利活用協議会の活動の紹介
13:45～14:30	<u>招待講演 「研究基盤としてのデータの整備と提供：IDRと国文研における取組」</u> <u>講演者：大山 敬三（国文学研究資料館／国立情報学研究所）</u>
(10分間)	休憩
第2部	
14:40～15:10	<u>小委員会の活動報告（各15分 質疑応答含む）</u> ● <u>研究データへの DOI登録促進小委員会</u> ● <u>研究資料・実験機器への PID付与検討小委員会</u>
15:10～15:40	<u>部会活動報告（各15分 質疑応答含む）</u> ● <u>データ共有・公開制度検討部会</u> ● <u>ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会 (JDARN)</u>
(10分間)	休憩
第3部	
15:50～16:40	RDUF会員による研究データ利活用に関するライトニングトーク ● <u>データリポジトリにおける大規模言語モデルの利活用を考える</u> ● <u>JAMSTECサンプル管理データベース (JSDB)におけるサンプル情報の管理・公開の取組みと活用事例紹介</u> ● <u>宇宙科学分野のメタデータスキーマからJPCOARスキーマへのマッピング - 他機関・他分野への展開</u> ● <u>千葉大学における研究データ管理教育に関する報告</u> ● <u>研究データにDOI付与を希望しない理由は何か：機関リポジトリでの研究データ登録を通しての考察</u> ● <u>研究データ管理 (RDM) への理解をサポートするRDMkit-jpの公開</u> ● <u>研究データガバナンスに関する国際動向</u>
16:40～16:45	総括
16:45～17:15	意見交換会※現地参加者のみ。

## 招待講演

第一部 13:45～14:30 (質疑応答含む)

---

### 研究基盤としてのデータの整備と提供:

### IDRと国文研における取組

#### 講演者

大山 敬三 (国文学研究資料館／国立情報学研究所)

#### 概要

本講演では、研究データの利活用に資するデータの整備と提供の考え方について、講演者が所属する機関での経験に基づき、事例を交えて二つの取組について話題を提供する。一つ目は、国立情報学研究所のIDR事業における研究用データの受入・提供について、主に提供者側の企業や大学等の観点から紹介する。二つ目は、国文学研究資料館のフロンティア事業における日本古典籍の基盤データ構築について、利活用の状況も交えて紹介する。

## 小委員会の活動報告

### 第二部 14:40~15:10 (各15分質疑応答含む)

#### 研究データへの DOI登録促進小委員会

##### 講演者

白井知子 (国立環境研究所)

##### 概要

2021年11月に設立された本小委員会では、研究データへのDOI登録の運用経験・実情・課題等について現在進行形で情報共有や議論をしながら、「研究データへのDOI登録ガイドライン」(初版はJaLCにより2015年に発行)の改訂に取り組んできた。本発表では、研究データへのDOI登録に関する最近のトピックスを取り混ぜながら改訂版ガイドラインの紹介を行う。

#### 研究資料・実験機器への PID付与検討小委員会

##### 講演者

松本 崇博 (高輝度光科学研究センター)

##### 概要

本小委員会は研究DXの推進を視野に入れ、研究資源に永続的識別子(PID)や関連メタデータを付与し、管理・利活用を行うための調査を実施した。委員各位からの様々な事例紹介を通じて、PID付与の現状や課題、品質保証との関連など情報共有と意見交換が行われた。更に、RDA(Research Data Alliance)のPIDINSTワーキンググループのドキュメントを日本語に翻訳し、RDA公式サイトで公開した。総括として、研究資源へのPID付与の現状と課題を整理し、今後の方向性と実施項目について提案した。

##### 参考文献:

PIDINSTに関するドキュメント日本語版の公開URL:

<https://docs.pidinst.org/ja/>

## 部会活動報告

第二部 15:10～15:40 (各15分質疑応答含む)

---

### データ共有・公開制度検討部会

#### 講演者

南山 泰之（国立情報学研究所）

#### 概要

データ共有・公開制度検討部会では、「RDUF 研究データライセンス小委員会」による活動の継承と展開、及び研究データ利活用にまつわる法的・制度的課題に関する論点の検討を行っている。本発表では、部会における今年度の議論の概要を紹介する。

### ジャパンデータリポジトリネットワーク推進部会(JDARN)

#### 講演者

八塚 茂（製品評価技術基盤機構）

#### 概要

ジャパンデータリポジトリネットワーク(JDARN)推進部会は、2017年に「国内の分野リポジトリ関係者のネットワーク構築」小委員会として設立して以降、研究データの管理や運営に関わるメンバーが集まり、「研究データリポジトリ整備・運用ガイドライン」の策定や研究データリポジトリのメタデータを集めたリポジトリリストの作成等を行ってきた。現在では、研究データに関する様々なトピックについて議論や意見交換を行う場となっており、本発表ではその主なものを紹介する。

**RDUF会員による研究データ活用に関する  
ライトニングトーク① オンライン発表  
第三部 15:50~16:40 (各5分)**

---

## データリポジトリにおける大規模言語モデルの利活用を考える

### 講演者

北本 朝展（国立情報学研究所）

### 概要

データリポジトリの主要機能であるデータの発見と利活用の改善に向けて、大規模言語モデル（LLM）の活用が不可避の課題となってきた。ChatGPTなどLLMの新たな活用例が日々提案されているが、同様にデータリポジトリでの利活用についても、みんながアイデアやノウハウを出し合って実践を積み重ねていけないだろうか。データリポジトリのあらゆる側面に影響を及ぼすLLMの利活用について、情報共有の場を作りたい。

## JAMSTECサンプル管理データベース（JSDB）におけるサンプル情報の管理・公開の取組みと活用事例紹介

### 講演者

高津 佳宏（海洋研究開発機構）

### 概要

JAMSTECではオープンサイエンスへの取組みとして、航海で採取された岩石・生物・堆積物コア等のサンプル情報となるメタデータの一元管理およびサンプルの二次利用促進を目的とした「JAMSTECサンプル管理データベース（JSDB）」を構築し、運用している。

本ライトニングトークでは、JSDBの概要・サンプル情報の管理・公開の取組みに加え、一部活用事例についても紹介する。

RDUF会員による研究データ活用に関する  
ライトニングトーク② オンライン発表  
第三部 15:50～16:40 (各5分)

---

宇宙科学分野のメタデータスキーマからJPCOARスキーマへの  
マッピング - 他機関・他分野への展開

講演者

我喜屋 累 (名古屋大学附属図書館)

概要

当館では、昨年度より教員との協力のもと、宇宙科学分野のメタデータスキーマ「SPASE」を機関リポジトリに使用されている「JPCOARスキーマ」にマッピングし、SPASEを使用する宇宙科学分野のデータベース「IUGONET」の研究データを機関リポジトリへ登録する試みを行っている。昨年、本件について当館直江より報告したが、今年度はさらに、他大学への展開等を進めているため、進捗について報告する。

## RDUF会員による研究データ利活用に関する ライトニングトーク③ 現地(ハイブリッド)発表 第三部 15:50~16:40 (各5分)

### 千葉大学における研究データ管理教育に関する報告

#### 講演者

熊崎 由衣 (千葉大学附属図書館)

#### 概要

本学では2023年6月に研究データポリシーを策定したが、検討に先んじて大学院生への教育を重視して学習教材の作成と教育プログラムを検討し、2023年度から大学院共通教育において「研究データの保存・管理・公開の基礎(集中講義)」を開講した。講義は将来研究職及び研究支援職に就く院生が、研究データの取扱や学術情報流通の基礎知識を得ることを主眼としている。本報告ではカリキュラムの構成や特徴などを報告する。

### 研究データにDOI付与を希望しない理由は何か：機関リポジトリでの研究データ登録を通しての考察

#### 講演者

尾鷲 瑞穂 (国立研究開発法人国立環境研究所)

#### 概要

国立環境研究所では、2022年11月より機関リポジトリでの研究データ公開を開始し、同時にDOI付与の促進も行った。ただ、論文や報告書等の文献コンテンツ公開と比較して、研究データの公開に際しては、DOIの付与を希望しないケースが少なからずあった。依頼当初にDOI付与を希望しなかった要因や希望しなかった研究員へのDOI付与のメリットの伝え方など、DOI付与促進の工夫などを共有したい。

## RDUF会員による研究データ利活用に関する ライトニングトーク④ 現地(ハイブリッド)発表 第三部 15:50~16:40 (各5分)

### 研究データ管理(RDM)への理解をサポートするRDMkit-jpの公開

#### 講演者

大波 純一\*、増井 誠生、古川 雅子、南山 泰之(国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター)

\*当日発表者

#### 概要

国内研究機関の研究データ管理(RDM)体制はこの数年で必須となりつつある。しかしRDMの基礎情報や、体制の適切な運用方法の共有は十分に行われていない。国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センターでは、RDMの知識や基盤の例を体系化したサイトを、新しく「RDMkit-jp」として2023年6月に公開した。日本のRDM体制強化のための一助となるよう、掲載コンテンツは今後も拡充していく予定である。

### 研究データガバナンスに関する国際動向

#### 講演者

平木 俊幸(国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター)

#### 概要

2023年10月23日から26日にザルツブルクにてInternational Data Week 2023が開催された。本会議には世界中のあらゆる分野・立場の人が集結し、データ駆動型発見とイノベーションを通じた科学と社会の発展に向けて講演・議論を行った。本講演では、本会議で展開された研究データガバナンスに関連するトピックを扱う講演・議論について、発表者および所属先の取り組みと関連付けつつ報告する。